

授 業 概 要

(幼稚園教諭専攻科)

授業のタイトル (科目名) 特別ニーズ教育論	授業の種類 (講義・ 演習 ・実習)	授業担当者 板垣 寛	当該科目に関する実務 経験 臨床心理士 児童相談所相談員 児童発達支援センター相 談員
授業の回数 12 回	時間数 (単位数) 24 時間 (1 単位)	幼稚園教諭専攻科 前期	必修・選択 必修
[授業の目的・ねらい及び概要] ・障がいの有無には関わらず特別の教育的ニーズのある児童を理解するために、①インクルーシブ教育の理念とシステム構築の具体化の模索 ②我が国の特別支援教育の理念、制度及び展開 ③特別支援学校や特別支援学級、通級による指導、地域連携支援などの特別支援教育の各形態の現状と課題、について理解を深める。			
[授業の・内容・授業方法] 1・特別支援教育の歴史～戦後から、現在に至るまでの変遷。現代社会における、教育的ニーズとインクルーシブ教育の理念～ 2・インクルーシブ教育への転換～インクルーシブ教育の国際動向・サラマンカ声明にみる教育的ニーズと障害者権利条約・合理的配慮～ 3・インクルーシブ教育への転換～我が国の特別支援教育の理念と制度、役割や機能について～ 4・インクルーシブ教育への転換～通常学級における合理的配慮とユニバーサルデザイン教育について学ぶ～ 5・障がい児の教育課程と方法～特別支援教育の学習指導要領と教育課程、個別の教育支援計画、個別の指導計画～ 6・障がい児の教育課程と方法～特別支援学級や通級指導要領の教科指導（読み・書き）と作業学習、自立活動 7・障がい児の教育課程と方法～発達障がいや軽度の知的障がいを抱える児童を含む学級の授業づくりとその手法・授業のユニバーサルデザイン化・教材教具の心理的役割。 8・障がい児の教育課程と方法～ICT を用いたコミュニケーションの光と影の理解・障がいを抱える児童に対するソーシャルスキルトレーニング（SST）と問題行動への対応～ 9・障がい児の教育課程と方法～特別支援学校の制度への理解（視覚障がい・聴覚障がい・病弱教育や重複障がい児童の教育課程編成～ 10・障がい児者の発達・障がい・生活～障がいと発達の基礎概念・発達保障の考え方・障がい者の自立等、発達と教育の関係性) 11・障がい児者の発達・障がい・生活～障がいと発達の基礎概念の理解・いじめや非行、不登校と障がいの関連 QOL を高めるための教育的な支援～ 12・障がい児者の発達・障がい・生活～読み書き障がい（ディスレシヤ）、注意欠陥多動性障害（ADHD）・自閉			

症スペクトラム（ASD）等、事例を基に教育的支援を理解～

[使用テキスト]

- ・「新版 キーワードブック 特別支援教育」クリエイツかもがわ

[参考文献]

- ・「演習・保育と障害のある子ども」（株式会社みらい）
- ・「障がい児保育の基本と課題」（学文社）

[成績評価の方法と基準]

- ・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し学内共通の基準による絶対評価を行う。
- ・考查点(75%)
- ・到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。
- ・平常点(25%)
- ・授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。